

(審議内容の一部を掲載しました)

## 新葬祭場27年度完成予定

## 依然厳しい国保会計

### 町民建設経済

### 総務福祉文教

#### 平成25年度決算

全体的に良好な財政状況であるが、金利の高いものを繰上償還して平準化する考えは

**A** 借入先の市中銀行、その他金融機関から借りた高い金利のものはすべて繰上償還して終えている。

残っている4%以上の高い金利のものは、財政融資資金や旧郵政公社から借りて返していくが、繰上償還すると補償料を納めなくてはいけないので、結局返すお金が同じくらいの額になるので、見合わせている。

負債が大きくなってくる時は、減債基金の切り崩しを検討していきたい。

#### 3校の太陽光発電の売電料と、子どもたちへの教育は

**A** 北小学校で8万1千936円、南小学校で14万6千328円、中学校で3万7千344円、経済効果とすると北小学校で41万円、南小学校で66万7千円、中学校では57万5千円になる。子どもたちへの教育は、校舎に入るとモニターパネルを設置してあり、発電量がわかるようになっていく。授業には、積極的に取り入れるよう要請している。

#### 歳出の、しなの鉄道関係経費と歳入の御代田駅業務委託料の差は、税金で賄っているのか。国や県からの補助金は

**A** 町からシルバーに委託している分の差額は町から支出している。交付金の補助はない。

#### 平成25年度決算

#### ごみ袋売り払い収入11%増の理由と、サイズ別販売実績は

**A** ごみ袋の販売数は、多い年少ない年と交互に推移している。25年度の可燃ごみ袋は24年度比1千120ロール増であったが、可燃ごみ処理量は1千412tで9tほどの減となった。24年度はその逆で、ごみ袋販売量は減でごみ処理量は増となっていた。

ごみ袋の売り払い収入は3千600万円で、サイズ別販売実績は、可燃袋大9千680ロール、小1千110ロール・プラごみ袋6千750ロール・不燃ごみ袋840ロール・生ごみ袋大2千970綴り、小1千50綴りであった。

#### 新葬祭場建設負担金2千88万3千161円が7.01%増加との説明だが、毎年度増えていくと言っているが

**A** 新葬祭場は佐久市が単独で建設を行ない、希望する佐久広域圏内他市町村の施設も併設するもので、27年度完成を目指している事業である。

参加を希望する佐久広域圏内の市町村が人口割りによる負担金を納めるもので、7.01%と言うのは25年度の御代田町の負担割合である。

#### 御代田町住宅新築資金等貸付事業特別会計の未収金に関して、時効の説明と町長が戸別訪問してお話すると聞いているがその経過は

**A** 民法上の時効が適用されるが、援用がない限りゼロとなることはない。

起債を利用しており、町の償還は31年に終了し、貸付者からの返済は32年7月が終了予定である。

#### 遺跡発掘調査での出土品自然科学分析委託業者の選定根拠は

**A** 自然科学分析の内容は、年代測定である。国内では年代測定の機器を持っている業者が2、3社しかないで、そういった業者を選定している。

#### 平成26年度国保会計補正予算

#### 現時点での税収の状況と医療費の半年間の推移は。

**A** 督促状の発送件数から昨年度よりも件数が減っており、納期内納付している方が多いということである。

当初調定額は、概ね予算で見込んだ税収が確保できた。医療費の伸びは、25年度は前期6千800万円台、後期7千400万円台であったが、今年度は7千800万円台から8千万円台と、ひと月の医療費が急激に伸びている。

要因の一つとして、佐久医療センターができたことにより、高度医療の加療による医療費が増加していることも挙げられると思うが、今後も下がることはないと考えている。



しなの鉄道

この2年間で、町長が貸付者を訪問したことはない。

#### 平成26年度補正予算

#### 婚活事業経費の減額説明はあったが、理由は何か。また実施の効果はあったか

**A** 25年度は県の地域発元気づくり支援金を活用し実施した。今年度も昨年同様の事業申請をしたが、不採択となったので見送ることになった。

次年度については補助金の有無で決めるのはおかしいと思うので、実施に向け検討していきたい。効果については、大勢の方に応募していた当初目的は達成したと考えている。

#### ごみ集積ハウスの設置基準と手続きは

**A** 30戸以上の利用で、半径200m以内に他の集積所がないことを基準としている。

区から依頼を受け、必要と判断した場合に集積所を設置し管理は区にお願いをしている。



新葬祭場地鎮祭